

千葉県言語聴覚士会ニュース

NO.14 2005年3月27日

目 次

選挙管理委員会から 1	臨床こぼれ話 5
第4回研修会報告 2	理事会等報告 6
研修会ビデオ、資料 3	求人情報 7, 8, 9
施設紹介 4	事務局から 10

選挙管理委員会から

選挙公示に関するお知らせ

千葉県言語聴覚士会役員選挙の立候補・推薦の受付が平成17年2月14日をもって締め切られました。理事および監事の候補者の人数が定数に満たなかったため、千葉県言語聴覚士会選挙細則(以下選挙細則)第18条に基づき、定数不足分の候補者を理事会において推挙いたします。

選挙日程では、平成17年3月1日に候補者の公示を行う予定でしたが、現在、理事会推挙による候補者を選定中であり、決定次第会員各位にご連絡いたします。

なお、理事会では定数を超えて候補者を推挙いたしませんので、選挙細則第25条(無投票当選)に基づき、投票は行われません。

役員選挙は今回で2回目となるのですが、前回同様、届け出による立候補および推薦の人数が定数に至らず、候補者全員が無投票当選となる見込みです。

日本言語聴覚士協会の役員選挙に目を向けてみると、あちらでは大勢の方が立候補し投票によって役員が選ばれているようですが、残念ながら、千葉県士会では理事に関心のある方が少ないのか、選挙では候補者不足に泣いています。

私達第一期の選挙管理委員会は、第1回目・第2回目の選挙を担当いたしましたが、投票には携ることなく任期満了を迎え、次の代の委員と交代します。次回の役員選挙では、初めての投票が行われるよう、多くの会員の方が役員に立候補してくださることを期待しています。

千葉県言語聴覚士会選挙管理委員会委員長
大浦淳一(館山病院)

学術局から

1. 平成16年度第4回研修会報告

平成17年3月13日(日)船橋市立医療センターにて、平成16年度第4回研修会を開催しました。今回は他職種との連携をテーマに、成人の症例検討を行いました。発表者及びコメントーターは下記の通りです。参加者は34名(うち会員・会友19名、会員外15名)でした。当日行ったアンケートの結果を、一部ご紹介します。

テーマ:「他職種との連携」に関する成人の症例検討

発表1「在宅リハビリテーションにおける他職種との連携 - 重度閉口障害・嚥下障害を伴った重複障害の症例を通して - 」

提案者 大石 芳恵先生 (松戸神経内科)

発表2「当ケアセンターの言語聴覚士によるサービス提供の試み - 他部門との連携を通じて - 」

提案者 伊瀬知 真実子先生 (八千代ケアセンター)

コメントーター 大塚 剛先生 (理学療法士、ロータスケアセンター、板倉病院)
勝又 綾子先生 (ユー・アイ久楽部他)



アンケート結果

- 私の老健でも他職種との連携は悩みの一つでSTの理解自体はまだうまくできていない状態です。勉強会をするにもCW、Nrs、Drの集まりがうまくいかず、行えていません。
- 今日の研修で改めて連携の大切さを考えさせられたので、もっと積極的に動いていかなければいけないと思いました。

- 今日の企画は大変よかったです。今回の研修会を通してケアマネージャーさんにSTの仕事を分かってもらうこと、啓発していく必要を感じました。(アセスメントに加わるくらいの。)また、他職種との連携がSTがSTとして仕事をしていく上で必要不可欠であることを痛感しました。
- 私自身も介護保険下での通所リハに関わっており、慢性期に在宅生活をサポート役割としてのSTの必要性を改めて強く感じました。周囲の他職種との連携を行っていく大変さは、日々痛感していますが、教科書通りのシステム構築をしていくのと同時に、人間関係としての信頼関係の構築、その積み重ねをしていくことで、ようやく理解しあえていくのかなあ、と思います。
- 発表者2名、コメントーター2名という形式が良かったと思います。特に2人のコメントーターの先生方からは、有効な情報を分かりやすく提示していただくなど、分野外のSTにも役に立つお話をうたうと思います。質問や意見、討論の時間がもっとたっぷり取れるとよいですね。そう思ったのも、形式的な研修会ではなく、みんなが身近な問題として感じられる内容であったからだと思います。
- ケアプランは制度上必要であり、統一ケアの基本となることは理解しておりますが、実際の現場でどのように浸透させていったのか、伺いたかったです。嚥下に関しては食材の検討はされないのでしょうか?管理栄養士との連携も大切と思いました。

学術局より

研修会の参加とアンケートのご協力ありがとうございました。通院・通所リハビリテーション施設や介護保険施設での、言語聴覚士の役割や他職種との連携の重要性を考える良い機会となりました。コメントーターの先生方の講評については、参考になったとの多くのご意見をいただきました。来年度も研修会へのご参加とご意見をお待ちしています。

2. 研修会ビデオの貸し出し

これまでに行った研修会ビデオの貸し出しを行っています。下記の要領でお申し込みください。

貸し出し期間：1ヶ月

方法：返信用封筒（B5またはA4サイズ）に住所、氏名を書き、切手（ビデオ1本270円分、2本390円分）を貼って送ってください。

あて先：〒266-0005 千葉市緑区誉田町1-45-1 千葉県袖ヶ浦養護学校 小学部 野島 洋子

貸し出しビデオ：

「STがおこなう高次脳機能障害の臨床」 講師 鈴木 勉先生（東京都立墨東病院）

「言語発達遅滞：関係の中で育つことば」 講師 長澤 泰子先生（日本橋学館大学）

「脳卒中の摂食・嚥下障害-臨床の実際-」 講師 矢守 麻奈先生（都立駒込病院）

「重複障害児のAAC-日常生活とST訓練を結ぶ」 講師 知念 洋美先生（千葉県千葉リハビリテーションセンター）

「記憶障害の臨床像と対処法-症例を通して-」 講師 安田 清先生（千葉労災病院）

「慢性期重度コミュニケーション障害者への支援 -通院及び通所（デイカ）リハビリテーションにおける言語訓練と生き甲斐作り-」 講師 横張 琴子先生（松戸神経内科）

「コミュニケーションの発達と支援 -前言語期から言語獲得に向けて-」 講師 長崎 勤先生（筑波大学）

「脳外傷の高次脳機能障害 -認知・コミュニケーション障害の評価-」 講師 藤田郁代先生（国際医療福祉大学）

ビデオの販売はしません。ダビングは禁止です。ビデオを紛失、破損した場合はご連絡ください。ビデオテープの代金を弁償していただきます。

3. 研修会資料の送付

希望者に研修会資料の配布を行っています。返信用封筒（A4サイズ）に住所、氏名を書き、切手（200円分）を貼って送ってください。あて先はビデオ貸し出しと同様です。

対象資料：上記のビデオ 、 の資料及び下記のとおりです。

症例検討会「成人の高次脳機能障害」

発表者：武田 智子先生（千葉中央デイカセンター） 酒井 千代先生（佐倉ホワイエ）

助言者：鈴木 勉先生（都立大塚病院） 相見 優子先生（下総病院他）

症例検討会「小児のコミュニケーション障害」

発表者：小宮山 則彦先生（亀田クリニック） 依田 美都先生（帝京大学市原病院）

助言者：田中 康雄先生（国立精神・神経センター・国府台病院） 知念 洋美先生（千葉県千葉リハビリテーションセンター）

「脳外傷の高次脳機能障害 -認知・コミュニケーション障害の評価-」 講師 藤田 郁代先生

症例検討会「ADHDが疑われる小学2年生の指導 関係機関との連携をとおして」

発表者：渡邊 裕貴先生（印西市ことばの発達相談室）齊藤 恵美子先生（印西市立内野小学校）

助言者：森永 良子先生（白百合女子大学）

「千葉県における新生児聴覚スクリーニング 事業について～早く見つかって良かったと思えるシステムをめざして～」 基調講演：「新生児聴覚スクリーニングの現状と展望」 工藤 典代先生（千葉県こども病院耳鼻咽喉科）

シンポジスト 福島 朗博先生（筑波大学附属聴覚学校）齊藤 真純先生（千葉県こども病院）

田辺 佳子先生（千葉市療育センター）

症例検討会（成人）「他職種との連携」

発表者：大石 芳恵先生、伊瀬知 真実子先生 コメンテーター：大塚 剛先生、勝又 綾子先生

4. 地域の勉強会について

昨年度から会員の皆様のご協力により、地域の勉強会が開催されています。同封の「千葉県内で行われる地域の勉強会情報」をご参照の上、奮ってご参加ください。また、ホームページではこの情報について随時更新を行っており、希望者にはメールマガジンでのアナウンスも行っています。

実態調査委員会から

募集 実態調査委員会では、来年度も引き続き「特別支援教育」についての調査等を行

っていく予定です。そこで、委員としてご協力いただける方を募集しています。関心のある方はぜひ社会局までご連絡ください。

施 設 紹 介

九十九里病院

S T 牛場 由美子

当院は九十九里町にあり、海まで徒歩15分という場所に位置しています。自然が豊かで環境に恵まれています。病院の前には遊歩道があり、患者さんが散歩をするなどして、ゆったりとした入院生活を送っています。病棟は医療療養型と介護型、一般病棟があり、合わせて137床の小さな病院です。またグループホームが隣接しています。

現在はST常勤1名で、成人や老人の失語症・dysarthria・嚥下障害の訓練を行なっています。訓練期から慢性期の方がほとんどですが、最近では隣町の救急病院からの紹介で、急性期の方の訓練を行なう事も増えてきました。当院は日曜日も診療を行なっているため、外来患者さんにとっては都合が良いようです。

入院患者さんは高齢で長期入院となる方が多く、精神的に不安定になっている場合が多いので、訓練時に言語訓練以外に、話をしっかり聞く時間を設けるように心がけています。

また、嚥下障害を呈している方が増加しているので、今後は嚥下障害食の見直しを行ないたいと考えています。

所在地：〒283-0104 山武郡九十九里町片貝2700番地
TEL：0475 76 8282



君津市中央病院

S T 村西 幸代

君津中央病院は、名称の「君津」とは異なり、江戸時代に栄えた港町である「木更津市」に昭和13年に開院致しました。現在は、君津都市中央病院組合として木更津市に隣接する、袖ヶ浦市、君津市、富津市からの助成を受け、地域のみなさまに親しんで頂いております。昭和43年に建てられた建物は老朽化に伴い、平成15年7月に同じ敷地内に増設された現在の新病院へと引越し、高層病棟の食堂から望める東京湾アクアラインは「知る人ぞ知る」絶景ポイントです。また地名の「桜井」に由來した病院を取り囲む桜並木は4月にはお花見スポットとなっております。病床数は651床であり、第3次救急病院の役割と地域病院の2つの役割を担っております。

言語聴覚室は昭和60年に開設され、現在はST4名で、失語と嚥下障害を中心にリハビリーションを展開しております。第3次救急病院でありながら、地域の中核病院としての性格も有するため、急性期から亜急性期まで比較的ゆっくりとした経過を追わせて頂き、さらに外来においては慢性期の方も多く来られております。

失語症者の友の会活動なども行われておりますが、今後も地域のneedsに広く答えていけるようST一同自己研鑽に努めて参りたいと思います。

所在地：〒292-8535 木更津市桜井1010番地
TEL：0438-36-1071



臨床こぼれ話

「いつまでも、共に歩む」

遠藤 尚志（言語生活とリハビリ研究所）

今年の1月23日（日）、埼玉県坂戸市内のあるマンションの一室で「失語症デイサービスはばたき」のお披露目のつどいが開かれました。集まった関係者は、言葉のご不自由な方14名を中心に50名ほど。室内には、このようなつどいでいつも味わえる「明るい笑いと深い共感」がただよっていました。このデイサービスは介護保険を財源として私が事業主となり、常勤ST2名を含む5名のスタッフを雇用して毎日10名の失語症の方をお迎えするものです。4月1日の開所をめざして、準備もいよいよ最終段階となりました。

昨年3月末、30年あまり前にSTをめざして一緒に学んだ同期生のトップを切って、私は定年を迎えました。以後は週3回の非常勤職場と週1回半日の「久我山ことばの教室」を軸に、さあこれでいくぶん暇な人生を送れるぞと開放感にひたつたのもつかの間、たまたま3LDKのマンションを失語症の方たちのために提供して下さる方があらわれて、今まで以上に忙しい日々を送っています。

私のSTとしての現役生活は、臨床（個人訓練とグループ訓練）と地域活動の二足のわらじの毎日でした。失語症の個人訓練では結局シユールの刺激法以上のものを見出すことはできませんでしたが、地域活動では老人保健法の「言語リハビリ教室」や介護保険法の「失語症デイサービス」、あるいは失語症者が働く共同作業所（「あしたば作業所」と「パソコン工房ゆずりは」）、「全国失語症者のつどい」や「埼玉県失語症者のつどい」「失語症者のつどいイン首都圏」といった集会、さらには「車椅子による海外ツアーと失語症者の国際交流会」など、様々な仲間づくりの活動を実現することができました。

20数年前、地域で初めて「失語症友の会」を作った時、ある失語症の方から「こんなことでお茶をにごされては困る」とお叱りを受けたことを今でも覚えています。そこには、もっと言語訓練が受けたいのに、という思いがこめられているのを感じました。専門職が障害をもった方の自立を願って一生懸命お世話をすればするほど、ますます依存関係を生んでしまうというジレンマが地域活動には伴います。

現在取り組んでいる介護保険の「失語症デイサービス」は、いつまでもSTのもとに通いたいと願う失語症者の望みと、障害を乗り越えるのに仲間づくり以上によい方法はないと考えるSTの考え方の両方を矛盾なく実現させる上で、まずは最良の解決の形ではないかと思っています。

「臨床こぼれ話」への投稿をお待ちしております。送付方法は、郵便、FAX（送付票付）またはE-mailで「事務局」あてにお願いします。

理事会・委員会報告

理事会

第11回

日時：2005年2月13日（日）13：00～18：00 場所：高洲コミュニティーセンター

出席者：神作、柴田、竹中、常田、野島、野原、村西

- （事務局より）・関連職能組織からの送付物について・日本言語聴覚士協会のポスター配布について
- ・都道府県士会協議会の地域支援事業について・千葉県士会ニュースNo14について
- ・会員および会友に関する細則について・会費に関する細則について・会務の運営に関する細則について
- （学術局より）・平成16年度第4回研修会のタイムスケジュールについて
- （新生児聴覚スクリーニング委員会より）・平成16年度第3回研修会の報告について

第12回

日時：2005年3月6日（日）14：10～17：00 場所：高洲コミュニティーセンター

出席者：勝又、神作、竹中、野島、村西（理事5名） 田中（書記）

- （事務局より）・関連職能組織からの送付物について・日本福祉のまちづくり学会第8回大会運営委員会について
- ・障害者の生活と権利を守る千葉県連絡協議会からの送付物について・千葉県言語聴覚士会ニュースNo.14について
- ・細則の見直しについて（運営に関する細則、分掌に関する細則、会費に関する細則、賛助会員の特典に関する細則）
- ・新入会員の承認について・理事の推挙について
- （学術局より）・平成16年度第4回研修会について
- （実態調査委員会より）・実態調査委員会での活動報告（委員会の開催、千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課障害児教育班主幹との面談、同課より巡回指導員の紹介についての依頼）
- （選挙管理委員会より）・次期役員の推挙について

地域組織委員会

第4回

日時：2005年1月29日（日）13：00～17：00 場所：千葉市療育センター

出席者：五十部、高橋、武田、田辺、長崎、野原（書記）

- ・会員の意見の収集方法について・今年度の活動報告について・総会での報告内容について

第5回

日時：2005年3月5日（土）14：00～17：00 場所：千葉市療育センター

出席者：五十部、高橋、武田、田辺、長崎

- ・総会への活動報告文書について・理事会への報告文書について

新生児聴覚スクリーニング検討委員会

第8回

日時：2005年1月30日（日）10：00～12：00 場所：千葉市療育センター

出席者：岡田、荻洲、斎藤、高橋、野島、勝又

- ・研修会反省について・フローチャートについて・県からの手引きについての報告

第9回

日時：2005年2月26日（土）9：30～12：00 場所：千葉市療育センター

出席者：斎藤、庄司、高橋、村西

- ・県専門部会作成の手引き書について

（紙面の都合上、報告事項と協議事項はまとめて記載しています。）

求人情報

詳細は、千葉県言語聴覚士会ホームページをご覧下さい。

千葉県船橋市ことばの相談室 急募

募 集：言語聴覚士(有資格者) 非常勤

対 象：就学前幼児に対する言語指導相談業務

その他の条件：週2回 9:00~17:00(昼休憩1時間) 時給2,420円 通勤手当全額支給
期間 1年(平成17年5月1日~平成18年3月31日)

応募方法：履歴書を3月31日(木)までに郵送してください(必着)
書類選考後に候補者には電話にて連絡し、面接を行います。

問合先：〒273-8501 千葉県船橋市湊町2-10-25 船橋市役所福祉サービス部障害福祉課
担当 大塚・岩崎 TEL047-436-2342

セントマーガレット病院 急募

募 集：言語聴覚士(有資格者もしくは資格取得見込みの方)

その他の条件：平成17年度初任給 23万円 *既卒者は経験による 昇給年1回、賞与年3回
交通費あり 各種休暇あり 各種保険あり 24時間保育室完備

応募方法：採用試験、見学は随時受付

問合先：〒276-0022 千葉県八千代市上高野450 医療法人 恵仁会 セントマーガレット病院
TEL047-485-5111 FAX047-484-1119 E-mail:jinzai@st-marguerite.or.jp

帝京大学医学部附属市原病院

募 集：言語聴覚士(有資格者もしくは資格取得見込みの方) 常勤1名

対 象：成人言語・認知、小児言語・認知、聴覚、発声・発語、摂食・嚥下、その他

その他の条件：初任給約20万円 *経験加算あり 各種保険完備 平成17年4月1日より

応募方法：応募書類を郵送 採用試験は平成17年2月12日(土) 見学随時受付

問合先：〒299-0111 千葉県市原市姉崎3426-3 TEL 0436-62-1211 総務課(応募に関して)
(見学に関して)耳鼻咽喉科外来 石毛もしくは高橋 14:00~17:00の間

千葉リハビリテーションセンター

募 集：言語聴覚士 非常勤1名

対 象：小児・成人

その他の条件：勤務 最大週4日(32時間) 曜日・日数 応相談 平成17年4月1日より1年間
給与 週4日の場合 138,640円(学歴・経験年数による加算あり)
交通費別途支給、社会保険、厚生年金あり

問合先：TEL 043-291-1831(内線261・252) hiromi.chinen@chiba-reha.jp

千葉中央メディカルセンター

募 集：言語聴覚士 常勤1名(新卒・経験問わず)

対 象：成人 高次脳機能障害、構音障害、摂食嚥下障害

問合先：〒264-0017 千葉市若葉区加曽利町1835-1
千葉中央メディカルセンター リハビリテーション課 担当 工藤 TEL 043-232-3691

はさまレインボークリニック 急募

募 集：言語聴覚士 非常勤1名（経験者優遇）
対 象：通所リハビリテーション利用者（定員40名 入所なし）
そ の 他：平成17年4月より 平日週2回 各半日程度 出勤日など委細応相談
時給1,500円以上 交通費 全額支給 有給休暇有り
応募方法：市販の履歴書（写真貼付）資格の写し又は卒業見込証明書を郵送または持参
問 合 先：〒274-0822 船橋市飯山満町3丁目1345-1（東西線 東葉高速鉄道 飯山満駅徒歩5分）
医療法人沖縄徳洲会 はさまレインボークリニック
TEL 047-496-3883（事務長代行 蔵本） H P <http://www.tokushukai.or.jp>.

上総記念病院 急募

募 集：言語聴覚士 非常勤1名
対 象：通所リハビリテーション利用者
そ の 他：週1回8時間、または週2回4時間 8:30~17:30
時給3500円~5000円 交通費全額支給
問 合 先：上総記念病院 〒292-0832 木更津市新田1丁目11番25号
TEL 0438-22-7111 担当：佐橋

新八千代病院 急募

募 集：言語聴覚士 常勤1名
対 象：成人言語障害・嚙下障害
そ の 他：基本給21万円、諸手当3万7千円 期間 平成17年4月1日~平成18年3月31日
勤務 8:30~17:00 週休2日制 有給休暇初年度10日
選考方法 書類・面接・健康診断 隨時
問 合 先：新八千代病院 〒276-0015 八千代市米本2167 TEL 047-488-3251 FAX 047-488-8807
担当 事務長 板垣 リハビリテーション科課長 藤田

千葉市障害者福祉センター

募 集：言語聴覚士 非常勤1名
対 象：成人（失語症、聴覚障害、構音障害、その他の言語障害）
そ の 他：時給：1,300円 勤務 9:00~17:00 週5日 土日勤務あり
期間 平成17年4月1日~平成18年3月31日
問 合 先：千葉市中央区千葉寺町1208-2 千葉市ハーモニープラザ1階 TEL 043-209-8779 担当 若鍋

坂の上外科

募 集：言語聴覚士 常勤もしくは非常勤1名
対 象：成人（一般外来リハ、通所リハ、訪問リハ、療養病床12床、一般病床7床）
そ の 他：当院規定優遇 勤務 8:30~17:30（応相談）勤務日：応相談
問 合 先：千葉市緑区土気町311 TEL 043-294-5551 FAX 043-294-6513
リハビリテーション科 PT 波平（なみひら）

成田病院 急募

募 集：言語聴覚士 常勤1名 国家資格取得者、経験年数3年未満の方

対 象：成人（失語、構音障害、嚥下障害等）

その他の採用時期は随時

問合先：成田市押畠896 TEL 0476-22-1500（代） 総合リハビリテーションセンター 科長 奥山

千葉徳洲苑

募 集：言語聴覚士 非常勤1名（できれば経験者、出勤日数は相談に応ず）

対 象：入所100名、デイサービス定員60名

その他の採用時期は随時 時給1,500円 新京成高根公団駅 千葉徳洲苑は送迎バスあり

問合先：〒274-0068 船橋市大穴北7-22-1 TEL 047-457-8411 FAX 047-457-9800 担当：中澤

袖ヶ浦市幼児ことばの相談員

募 集：幼児ことばの相談員1名

その他の採用時期は1年間 週2回 日額8,400円 交通費の支給なし

問合先：TEL 0438-62-2111（内）326 FAX 0438-63-1310 袖ヶ浦市役所厚生課 担当：松野

成田市ことばの相談室

募 集：言語聴覚士（小児臨床の経験者・要免許）1名

対 象：言語発達遅滞・脳性まひ・構音障害・聴覚障害・吃音など

その他の採用時期は月～金 8:30～17:00（7時間半） 時給1,160円

雇用期間：1年（平成17年4月～平成18年3月）

問合先：成田市保健福祉館健康管理課（ことばの相談室）

成田市赤坂1-3-1（JR成田駅西口よりバス10分）

TEL 0476-27-1111 健康管理課（ことばの相談室） 担当：斎藤まで

あすみの丘

募 集：言語聴覚士 非常勤1名（経験ある方尚可）

対 象：特養入所者50名 デイサービス30名の一部

その他の採用時期は勤務日 平成16年4月～ 週2回 2h/回（曜日・回数・時間は応相談）

問合先：千葉県四街道市大日1623-1 TEL 043-421-5188 FAX 043-421-5189 担当：星

浅井病院

募 集：言語聴覚士 常勤・経験者希望

対 象：成人の失語症、dysarthria、摂食・嚥下障害等

問合先：〒283-8650 千葉県東金市家徳38-1 TEL 0475-58-5000（代表）

担当：企画管理浅岡・ST若梅

小張病院

募 集：言語聴覚士

対 象：成人、小児の言語障害

その他：勤務日 4週8休 採用時期 随時

給与当院規定により優遇 経験加算有り 賞与年2回

問合先：〒278-8501 千葉県野田市横内29-1 TEL 04-7124-6892 リハビリテーション科 小林

塩田病院

募集：言語聴覚士 新卒・経験者問わず 常勤2名

対象：主に成人、失語症及びdysarthria、嚥下障害

問合先：千葉県勝浦市出水1221 TEL 0470-73-1221 リハビリテーション科 PT 宮島 ST 斎藤まで

事務局から

1. 会費の納入のお願い

平成17年度の会費納入を、同封の振込用紙にてお願いします。

また、平成16年度以前の会費を未納な方も、至急振り込んでいただけるようお願いします。

なお、ご不明な点は、事務局財務部までお問い合わせください。

我孫子市身体障害者福祉センター 04-7188-0141 竹中啓介

2. 新入会員のお知らせ（敬称略） 会員数：正会員201名 会友24名

… 正会員 … 織茂陽子



編集後記：今年の花粉はすごいですねえ。マスクをしながらパソコンに向かっていると、頭がクラクラしてきます。

花粉の季節とともに、この「ニュース」も次の方にバトンを渡し、新しい風を巻き込んで皆さんのかころに届くことだと思います。

2年間ありがとうございました。（柴田）

事務局

〒292-8535 千葉県木更津市桜井1010 君津中央病院 リハビリテーション科 言語聴覚室
TEL:(0438)36-1071 FAX:(0438)36-3867 E-mail：chibakenshikai@zp.moo.jp
<http://chibakenshikai.moo.jp/> 会員専用パスワード：affordance